

第三編 私たちにできること



一人ひとりができる取組

私たちは、今後どのようなことに取り組んでいけばよいのでしょうか。

国や県が情報を公表しても、私たちがその情報に関心を持たなければ環境はよくなっていきません。一人でも多くの方が化学物質に関する情報に関心を持ち、またそれをきっかけに近隣の事業所や行政とコミュニケーションを図り、自分自身のくらしを見直すことが、地域の環境リスクの低減につながります。

1 関心を持つ

- ◇ 自宅や勤務先の近くに化学物質を扱う工場や処理施設などはないか、地図を見してみる。
- ◇ 製品ラベルにある使い方の注意事項、原材料の表示を読んでみる。
- ◇ コンビニエンスストアなどのお弁当の容器はどう捨てるべきか、素材がなにか考えてみる。

2 調べる

- ◇ TV、新聞、ラジオ、インターネット、環境報告書、工場情報誌、PRTRデータなど、いろいろな情報源で調べてみる。
- ◇ 行政、企業、専門家、NGOなど、いろいろな立場の人の意見を比べてみる。

3 勉強会・対話の場に参加する

- ◇ 工場見学、おまつり、工場開放日、地域対話、工場主催セミナー、環境報告書を読む会などに参加して、工場の様子を知る。
- ◇ 工場で働く人と話してみる。

4 毎日の生活を見直す

- ◇ 製品の使用量が過度にならないよう、無駄遣いをせず、必要な分だけ使う。
- ◇ 製品の表示をよく読み、使用上の注意を守り正しく使う。
- ◇ ごみは適切に捨てる。
- ◇ 環境にやさしい製品を選ぶ。（例えば、リサイクル可能な製品、詰め替え用がある製品等。）

例えば 日常生活で使う洗剤の使用について、こんな見直し方があります。

①洗いたいものの量と汚れの程度にあった正しい量の洗剤を使いましょう。

洗剤には、効果を発揮するのにちょうどよい量があります。

洗剤のラベルなどに表示された使用量の目安をよく見て、正しい量を使いましょう。

②石けんなどの分解性の高い洗剤を適量使用しましょう。

洗剤を購入するときは、品質表示を確認し、用途や使用量の目安を守りましょう。

③食器に残った油や汚れは拭き取りましょう。

使う洗剤の量が少なくすみ、水に流れる汚れも少なくなります。

参考文献：「化学物質 対話でリスクをへらしていこう」経済産業省
「わたしたちの生活と化学物質」環境省
「かんたん化学物質ガイド 洗剤と化学物質」環境省